

総額≠入出金取引

本当の売上総額は 100,000 円。
クレカ決済の手数料引かれて
97,800 円が口座に入った。

よくあることです。

売上として入力すべきは
100,000 円。

でも目の前に見えているのは
97,800 円という数字だけ。
勘定科目の登録欄は 1 つしか
見当たらない。

こういう時にどうしたらいいのか
しっかり覚えておきましょう。

【これだけではダメ！】

先月の売上が手数料を引かれて
銀行口座に入金された。
↓
000(株) 280,000円 入金別
↓
会計ソフトには
“売掛金の回収 280,000円”と
入力した。
2万円の手数料は“手数料2万差引”と
摘要欄に記録しておいた。

「売掛金の回収」で
入力。手数料の
ことも書いたよ？

その手数料も、
「勘定科目」に
しないと！



【あるべき姿】

先月の売上が手数料を引かれて
銀行口座に入金された。
↓
000(株) 280,000円 入金別
手数料 20,000円は差引
(総額 300,000円の売上代金回収)
↓
会計ソフトには
“売掛金の回収 300,000円”と入力した。
一方で、“普通預金の増加 280,000円”も、
“支払手数料 20,000円”も入力しておいた。

複式簿記の仕訳形式で書くと
このようになります。

借方	金額	貸方	金額
普通預金	280,000	売掛金	300,000
支払手数料	20,000		

“借方”などの簿記用語、最初は必要以上に気にしない！
上記でいうと、300,000 円の売掛金というトータルの額の
「細かい内訳」を反対側に記して“明細書”を作っていると
思った方がしっくりきます。



【会計ソフトではこうなっている！（free の場合）】

① 同期している口座の「未登録取引」を開く。

同期している口座の「未登録取引」を開く。

② 入金「詳細」を登録する

最初は入金額と一緒にいるが
ここを「総額」である 100,000 円にする

総額から何か「引かれる」入力はこちらをクリック

入金額そのものが「総額」で、その内訳を
入力したいときはここで行を増やす。

口座を同期していない時などは「振替伝票」を使いましょう。

